



200年の伝統をITアシスト!

川出 和希

日本酒 エレクトロニクス

ご購入はこちら

第15回 出荷するまでの工程のIT化を検討



写真2 全数目視検査…日光に透かして異物混入のチェックを行う



(a) 箱詰めされてずらりと並ぶ

(b) ラベルはまだない

写真1 出荷まであと少し…瓶詰めが完了したお酒

お酒を出荷するために必要な工程

製成・瓶詰めが完了したお酒は検査工程を経た後ラベルを張り、出荷となります。

● 工程1…検査

瓶詰めが完了したお酒を写真1に示します。

写真1 (b) に示すように、瓶にはまだラベルが貼られていません。通常お店に並ぶお酒は全てラベルが貼られているので、のっぺらぼうの瓶は見ていて違和感があるかもしれません。最初からラベルが貼られていないのは、お酒の充填中に噴きこぼれたり、物によっては瓶火入れ（瓶をお湯の中に入れて殺菌などをする作業）をしたりするためです。何より、検査をするのにラベルは邪魔になるのが最大の理由です。

日本酒は飲料であり、人の口に入るものなので異物の混入には細心の注意を払う必要があります。もちろん

今回は瓶詰めが完了したお酒が出荷されるまでの工程を紹介します。その中でエレクトロニクスを使って省力化を進めていきます。

- 第9回 田んぼの水位センシングの重要性 (2018年3月号)
- 第10回 自作田んぼ水位センサの評価実験 (2018年4月号)
- 第11回 田んぼ水位センシング・システムを作る (2018年5月号)